

「基本的人権の観点から見た 健康保険証廃止・マイナ保険証義務化」

昨年秋、河野太郎デジタル大臣は、マイナンバーカードと健康保険証の一体化に向けた取り組みを前倒しし、2024年度秋に保険証の廃止を目指すことを発表しました。

国民皆保険制度のもとでこのような施策を実行することは、マイナンバーカードの取得を事実上、義務化するものであり、番号法がカードの取得を任意としたことに反するものです。

マイナンバーカードと健康保険証の一体化は、医療機関や私たちにどのような影響を及ぼすか、私たちの医療情報はどのように扱われるのか、一緒に考えましょう。

日時

2023年

3月6日(月) 午後6時～午後8時

方法

オンライン配信 (zoomウェビナーを予定)

参加費無料
事前申込制

申込締切/3月2日(木)

●基調報告

住江 憲勇 氏 (全国保険医団体連合会 会長)

出口 かおり 弁護士 (東京弁護士会憲法問題対策センター委員)

●パネルディスカッション

◆パネリスト

住江 憲勇 氏

神里 達博 氏 (千葉大学大学院国際学術研究院教授)

◆コーディネーター

出口 かおり 弁護士

清水 勉 弁護士 (東京弁護士会憲法問題対策センター委員)



【申込方法】 下記URLまたは二次元コードより事前にお申し込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S22909141/>

【問合せ先】 東京弁護士会人権課 03-3581-2205

■当日、何らかの理由で通信が中断し復旧困難となった場合、やむを得ず本講演会を中止する可能性があります (目安として10分以上配信不能となった場合)。

■視聴者のPC環境・通信状況等の不具合について、当会では責任を負わず、Zoomの利用方法等についてのサポート対応等も行いかねますので、予めご了承ください。

■録画 (スクリーンショットを含む) ・録音や二次利用は固くお断り申し上げます。

